

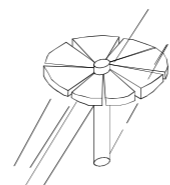


『寄り添い結ぶ展望台』

海軍壕公園は豊見城市の景勝地に位置し遊具広場には家族連れも訪れる緑豊かな公園です。それと同時に戦跡公園として海軍壕での戦いの悲惨さや、忘れてはいけない歴史を伝え訪れる人々に戦争や平和について考えてもらう為の場所でもあります。今回の計画は、施設で歴史を学びそれぞれの思いを抱えながら丘を登ってきた一人一人の気持ちに寄り添うことのできる展望台を目指し設計しました。

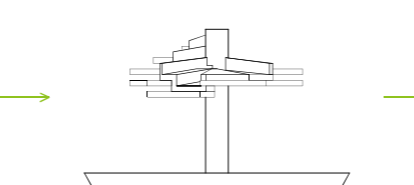
■ ダイアグラム

分割された屋根を設けます



優しい光の落ちる明るい空間を作ります

思考を掘り下げるのに適している天井の低い場所と、屋根の外側と連続するような天井の高い場所をつくる



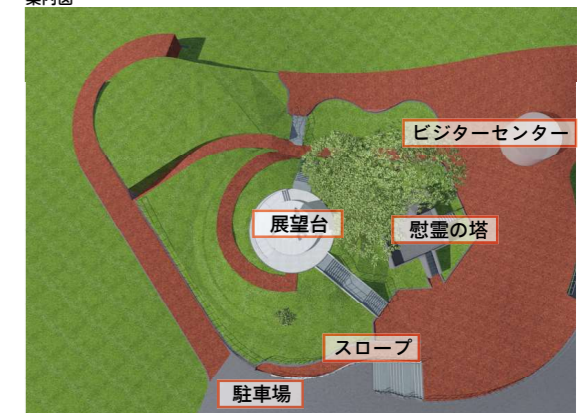
景色を眺めながらより深く平和への思いを巡らせることのできる場所になります

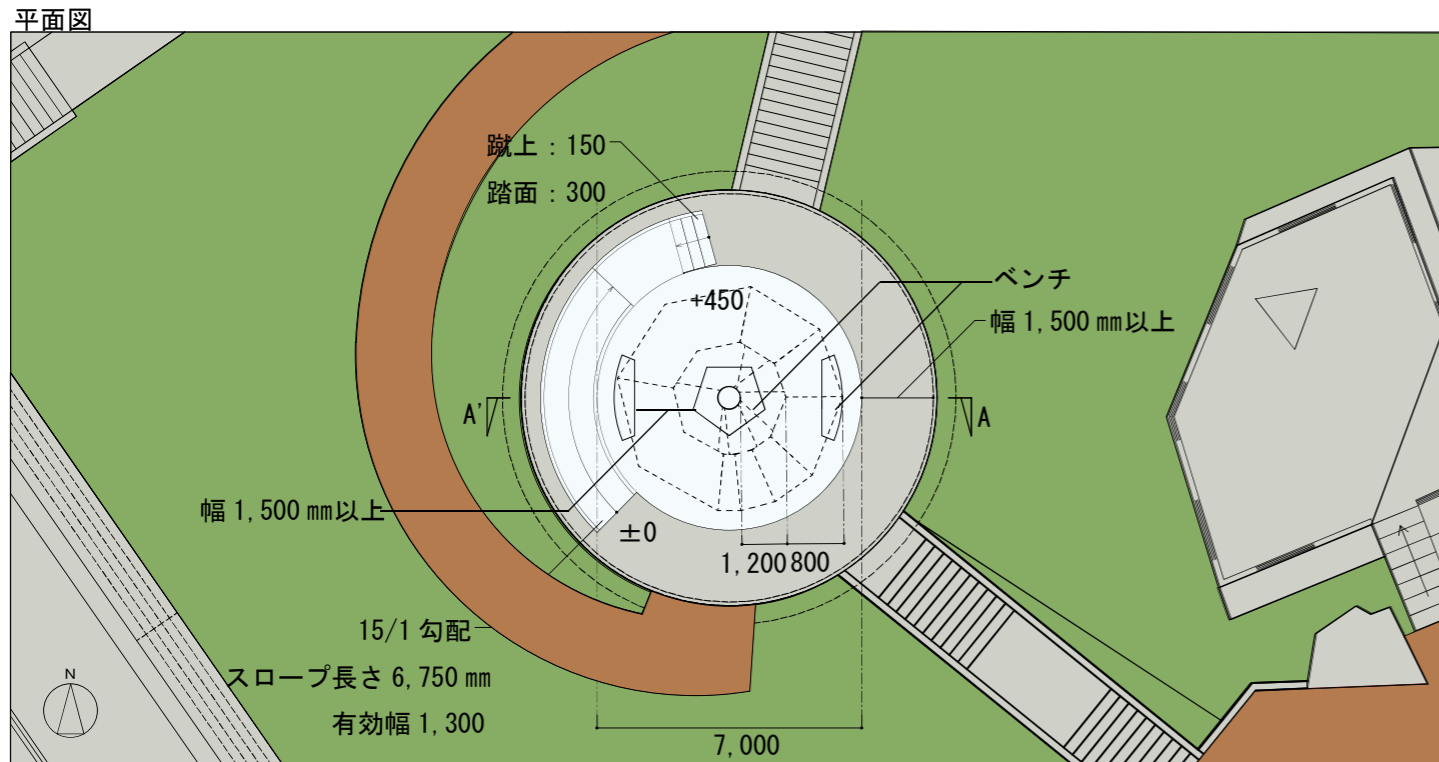
屋根は花をモチーフとしたデザインとし計画地と日か所の沖縄戦にまつわる場を線で結び、線を境に屋根を8枚の花びらに分けました。



結んだ中心に花を咲かせることで戦争に巻き込まれ犠牲となった人々へ花を手向け、平和への思いを未来へと繋ぐような場所となるよう願いを込めました

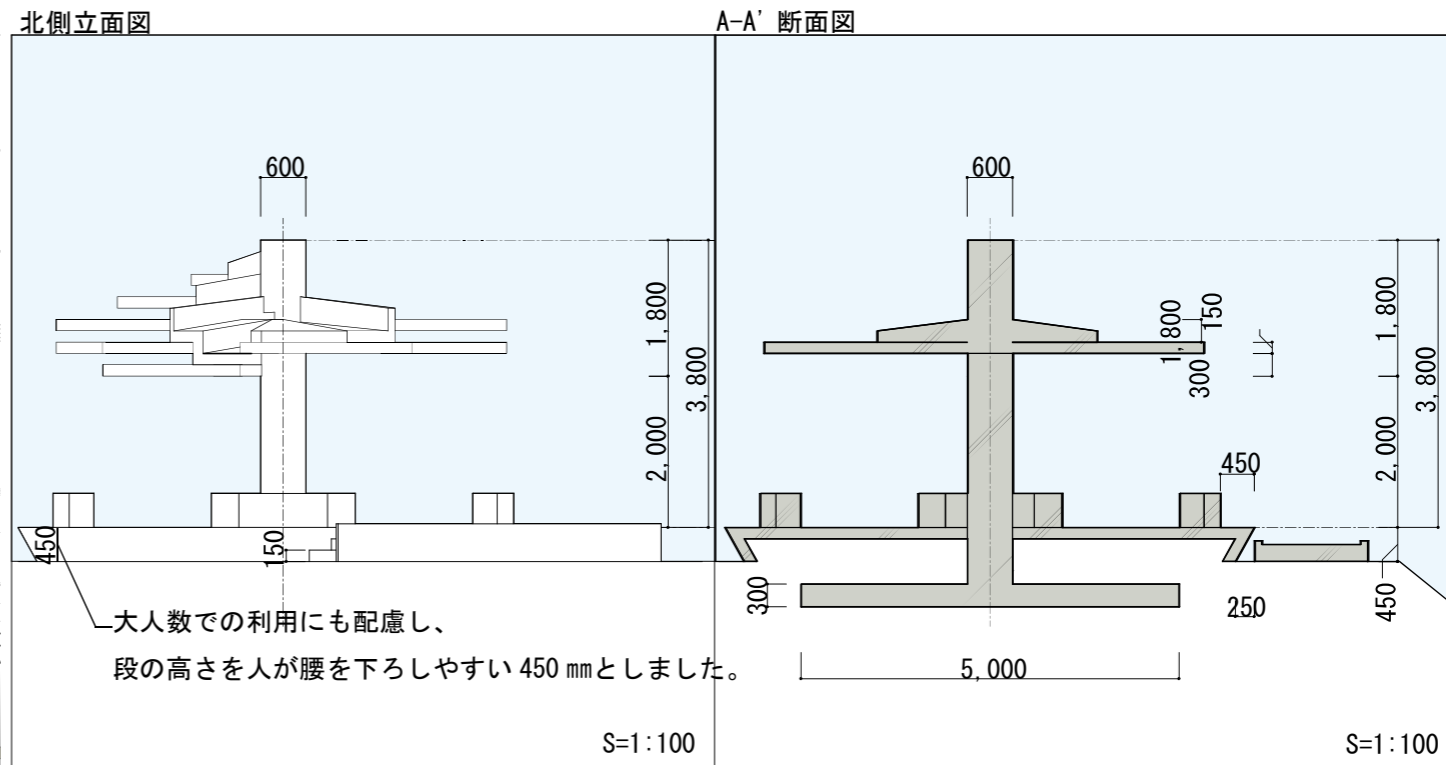
案内図



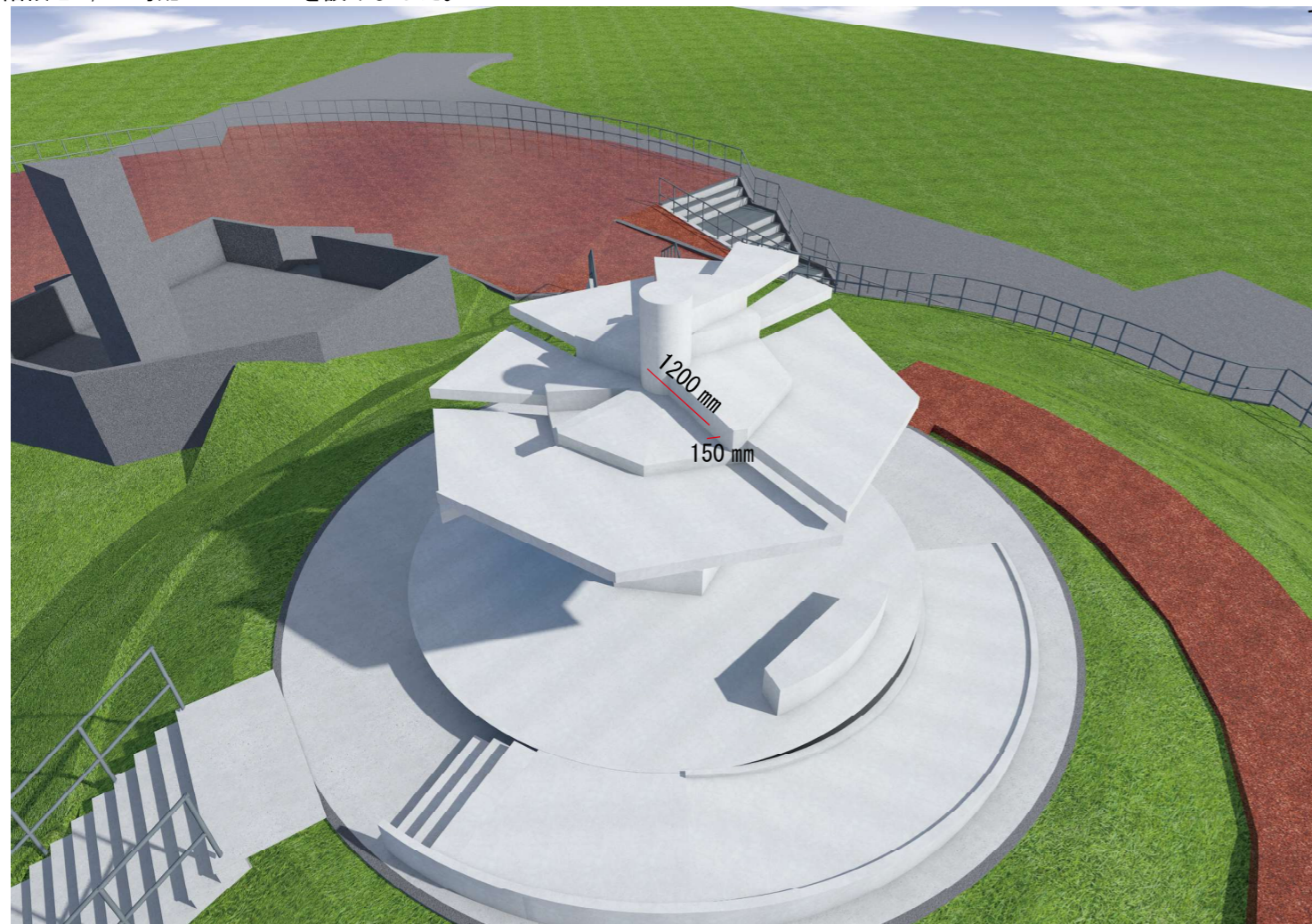


展望台内の通路幅は1200 mm以上確保しました。
階段と1/15勾配のスロープを設けました。

設計概要
展望台床面積 : 38.46㎡
S=1:100



元気に動き回る子供達や、腰掛けゆっくり景色を眺める人。
楽しみの方の違う利用者が同じ場所で心地良く過ごせるようにするため、段を設け床レベルを変えることで連続した空間でありながらそれぞれの過ごしやすいスペースを分けて設けた。



■構造と仕上について

屋根の荷重を支持するために、屋根の根元の力が強くかかる部分を $t=300$ で設定し屋根の根元から 1200 mm の範囲を 150mmラップさせてつなぎ配力筋方向に稲妻筋を連続させて柱と屋根が一体となるようにする事で各方向の屋根を支持します。
打ちっ放し補修の上、気候性の高い塗料にて仕上ることで耐久性に配慮します



屋根の下に支える部材を設けない構造とすることで天井を見上げたときに
展望台に訪れた人々をやさしく迎え入れるデザインにしました。